

科目名	必修/選択	単位数	学年	学科
倫理(文系)	選択	4	3	普通科

科目の概要	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につけることを目指す科目。			
教材名	教科書	『高等学校 新倫理 新訂版』(清水書院)		
	副教材	『最新版 倫理資料集 ソフィエ～智を学び夢を育む～』(清水書院)・・・資料集 『完全MASTER 倫理+公共 問題集 大学入学共通テスト』(清水書院)・・・問題集		
担当者	白幡優作			
学習到達目標	① 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。(知識・技能) ② 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする。(思考・判断・表現) ③ 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。(主体的に学習に取り組む態度)			
学習方法	・教科書・資料集を使用し、授業内で配布するプリントに授業内容をまとめる。プリントを用いて重要語句の説明および知識活用の課題に取り組む。加えて、定着のために問題集を各自使用する。 ・授業の形式は一斉授業を基本とするが、1時間に数回、ワークシートの課題を各自考察し、グループワークやペアワークでの意見交換する場面、グループやペアで答えを出し、全体と共有する場合を設定する。			
評価の方法 及び 評価基準 と 評価規 準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	・定期考査 ・小テスト	・授業 ・プリント ・単元テスト	・授業 ・プリント ・単元テスト
	A	先哲の思想を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について十分に理解している。	現代の倫理的諸課題を解決するために、先哲の思想などを十分に活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
	B	先哲の思想を通して、現代の諸課題を捉え、思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。	現代の倫理的諸課題を解決するために、先哲の思想などを活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりしている。
C	先哲の思想を通して、現代の諸課題を捉え、思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解できていない。	現代の倫理的諸課題を解決するために、先哲の思想などを活用し、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができない。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について追究することができず、他者と共によりよく生きる自己を形成しようしていない。	

年間学習計画

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	第1編第1章人間とは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・古代思想を手掛かりに「理性」や「愛」をキーワードとして、普遍的な人生の課題に向き合い自己の生き方や、人間としてどうあるべきかについて考察する。 ・現代の資本主義社会を形成する思想背景としての「理性主義」や「科学的思考」について理解を深め、自己と他者のより良い関係について考察し、自己および他者の意見を共有し比較検討する。 ・理性主義の限界と、個人の在り方について理解を深め、自己の理想実現のために他者とどのような関係を結ぶかについて自己および他者の意見を共有し比較検討する。 ・日本人の思想に影響を及ぼし続けている古代思想と仏教・儒教の外来思想について理解を深め、日本人の「ものの考え方」を既習内容(西洋思想)と比較しながら自己の生き方と関連付けて考察し、他者と共有して比較検討する。 ・現代の日本人にも強い影響を及ぼしている朱子学と、これへの批判である諸学についての理解を深め、エリート文化と庶民文化の両面から現代を生きる自己とのつながりについて考察し、他者と共有する。 ・現代を生きる日本人として、外国の思想の受容と変化への対応について理解を深め、今後も変化し続ける世界にどう関わるか自己の生き方について考察し他者と比較検討する。 ・現代の人類社会が直面する課題について、倫理の思考方法で自己にできる関わりの両方について考察し、他者と比較検討しながらより良い人類社会の在り方について議論する。 ・青年期の特徴と発達課題について理解を深め、より良い自己形成について他者と意見を交換する。 	12	小テスト(知)
5	第2編第1章人生における哲学		12	
6	第3編第1章 現代の倫理的課題		14	
7	第2章 現代に生きる人間の倫理		8	
8	第4節 自己実現と幸福		15	
9	第5節 個人と社会の関わり		11	
10	第4編第1章日本の風土と外来思想の受容		15	
11	第6節 西洋近代思想の受容		11	
12	第5編 現代の諸課題と倫理		11	
	第1編第1章人間とは何か		11	
	2章青年期の意義			
	3豊かな自己実現のために			

